

# Connect with the Best

 住友電装  
Connect with the Best

2030ビジョン  
中期経営計画2025

# Agenda

- 01** いま伝えたい私たちの使命 ..... P.03
- 02** これまでの歩み ..... P.10
- 03** 私たちが創り出す未来 ..... P.14
- 04** 「人」に対する取組み ..... P.23



# いま伝えたい私たちの使命

Our Mission

## 社長からのメッセージ

これから先の社会は、これまで以上に、誰にも予想のつかない激動の時代になると考えています。特に、私たちが向き合うべきモビリティ市場は100年に一度の大変革期と言われ、従来の考え方やものづくりの根本が変わる可能性さえあると感じています。そのような中でも、弊社がこれまで培ってきた理念や技術の柱をぶらさずに、弊社の強みと可能性を皆さんで改めて再認識し、これからの更なる挑戦の礎としていきたいという思いから、**中期経営計画のもとになる 経営理念** をあらたに制定いたします。

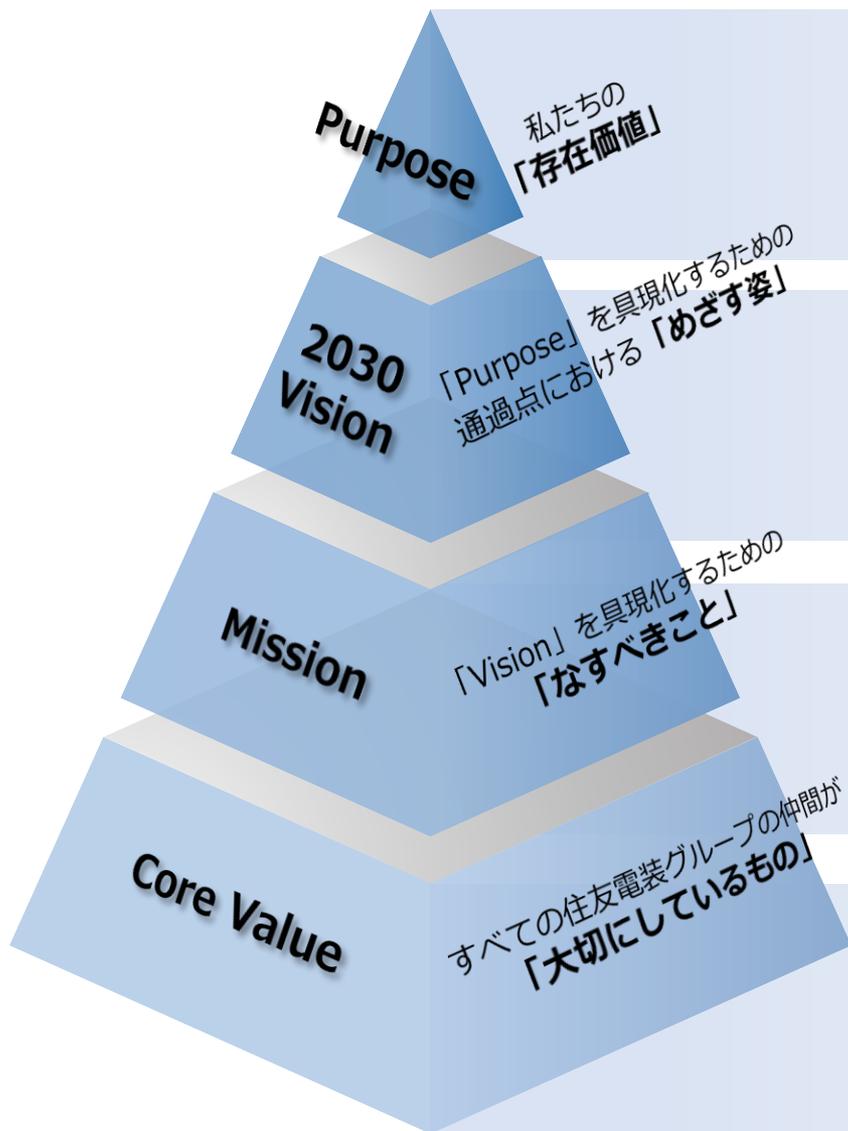
代表取締役 執行役員社長  
漆畑 憲一

2023年度  
現在

2025年度  
中期経営計画2025  
“25M”

2030年度  
2030ビジョン  
“30V”

# 30V・25Mのもとになる経営理念の全体像



ハーネス技術を深化させ、  
“モビリティ社会のなくてはならない  
パートナー” であり続ける

ものづくり・人づくりを追求し、  
“期待を越える可能性の実現” へ挑戦する

ポジション    サプライヤーから “パートナー” へ  
組織の強み    “三位一体” グループ総合力による協創  
個の力        25万人の “多様なグローバル経験”

精神的柱    住友事業精神  
                 マルチステークホルダー キャピタリズム  
                 住友電装グループ基本理念  
                 住友電装グループ企業行動憲章

行動原則    SWS WAY

## Purpose（パーパス）

住友電装グループの「存在価値」

パーパス

ハーネス技術を深化させ、

“モビリティ社会のなくてはならないパートナー”

であり続ける

フレーズ

ハーネス技術を深化

モビリティ社会

なくてはならない  
パートナー

あり続ける

込めている想い

- ▶ ワイヤーハーネスや関連製品（電線・コネクタ・エレクトロニクス製品）を含む、これまでに蓄積してきた技術を元に、さらに深く社会及び顧客のニーズを**越えて**追求し進展させていくこと。
- ▶ OEM、クルマの利用者、サプライヤーなどの**あらゆるステークホルダー**と、それを取り巻く社会全体のこと。
- ▶ モビリティの発展をパートナーとして支えることを通して、快適で安全な社会の実現に貢献すること。  
社会からも顧客からも**必要**な存在。
- ▶ これまでもそうであったように、今後もさらに**パートナー関係**を強化し続ける決意。

## 2030Vision (ビジョン)

「Purpose」を具現化するための通過点（2030年）における「めざす姿」

### Vision

ものづくり・人づくりを追求し、  
**“期待を越える可能性の実現”**へ挑戦する

#### 私たちへの3つの期待

CASE・モビリティの多様化

**モビリティの変革**  
100年に一度の大変革期

社会的課題への対応

**社会からの要請**  
グリーン社会・持続的成長

トップシェア企業としての役割

**顧客からの期待**  
任せられるパートナーへ

これまでに培った技術を元に、  
**ものづくり・人づくり**を追求

期待に寄り添い、期待に向き合い、  
期待を越えるソリューションを  
提案し、可能性を実現に変える。

**なくてはならない  
パートナーへ**

## Mission (ミッション)

「Vision」を具現化するための「なすべきこと」

### Mission

私たちが獲得すべき  
ポジション

サプライヤーから  
パートナー

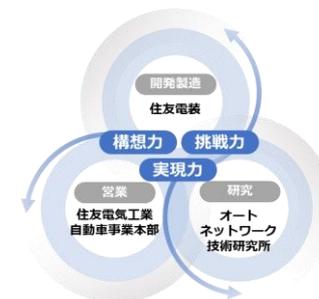
部品最適から  
**モビリティ全体最適**の  
ソリューションを  
**パッケージ提案**



それを実現するための  
組織体制・社の強み

三位一体  
グループ総合力の協創

組織の領域を越え**融合**する  
ことで、**創造性**を獲得



それを実現するための  
人材育成・人材活用

25万人の **多様な**  
**グローバル経験**

**Diversity Equity  
& Inclusion**  
を推進し、多様な人材が活躍



# Core Value (コア バリュース)

## すべての住友電装グループの仲間が「大切にしているもの」

### 住友事業精神

萬事入精 信用確実 不趨浮利

『技術の重視』『人材の尊重』『企画の遠大性』『自利利他、公私一如』

### 住友電装グループ基本理念

私たちは「Connect with the Best」の精神で

- 社業の繁栄を通じて地球社会に貢献します
- 質の高い活動により顧客満足を実現します
- 創造と変革により企業の未来を拓きます
- 誠実と信頼を基本に高い企業倫理を保持します
- 個性を尊重し活力溢れる明るい企業文化を育みます

### 住友電装グループ企業行動憲章

1. 優れた製品・サービスの提供
2. オリジナリティのある新事業・新製品の開発
3. グローバルな事業展開とグループ全体の成長・発展
4. 地球環境への配慮
5. 法令の遵守
6. 公正、適正な事業活動
7. 社会の一員としての自覚ある行動
8. 国際社会との協調
9. 働きやすい職場環境の構築と人材の育成
10. 適切な情報開示とコミュニケーションの促進

### SWS WAY

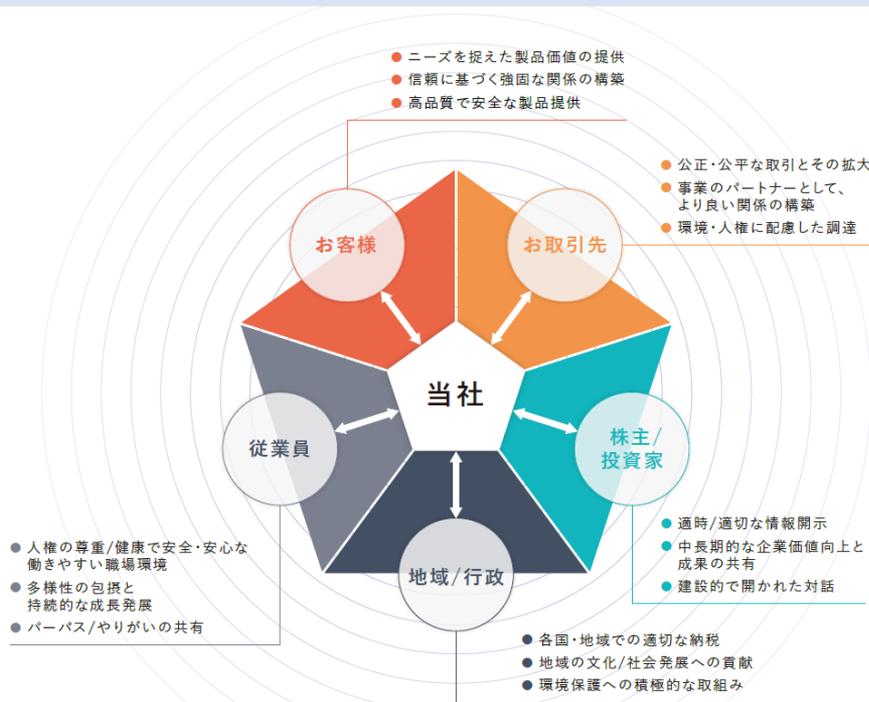
プロフェッショナル チームワーク チャレンジ

### マルチステークホルダー キャピタリズム

(「公益を重視し、ステークホルダーの皆様との共存を図る」という考え方)

### ステークホルダーの皆様とともに

私たち住友電工グループは「実行する集団」として、「グリーンな地球と安心・快適な暮らし」の実現に向けて取り組み、サステナブルな社会を目指してまいります。そして、その価値観と成果をステークホルダーの皆様と共有してまいります。





# これまでの歩み

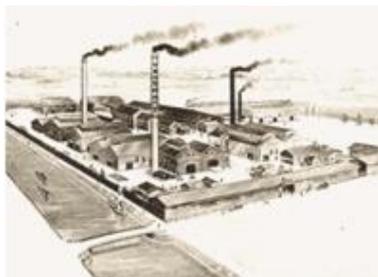
Looking back so far

## 企業の変革

弊社は1917年の創立以降、電線製造を根幹に技術をつなげながら  
グローバルに成長を続けてきた。

1917年～

1931年から住友電気工業  
との技術並びに資本提携



1957年～

ワイヤーハーネスの  
生産を開始



1978年～

ブラジルに法人を設立し  
海外進出1号



1985年～

「住友電装株式会社」に  
商号変更



1999年～

M&Aによりグローバル化  
を加速



2007年～

住友電気工業の  
完全子会社化



2017年～

創立100周年  
グローバルシェアNo.1



2023年～

2030ビジョンがスタート



## 事業内容

創立されてから100年の間に様々な分野で多様な製品が生まれてきた。  
今後もオリジナリティがあり、かつ収益力に優れた新製品を開発していく。

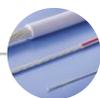
### 電線製造



1960年代~

#### 自動車用ワイヤーハーネス

- アルミハーネス
- スライドドア用ハーネス
- EPBハーネス一体型車輪速センサー



1960年代~

#### 自動車用電線

- 低圧電線
- 高電圧用電線
- シールド電線
- アルミ電線



1970年代~

#### ハーネス用部品

- 高周波コネクタ
- TSシリーズ防水0.64型コネクタ
- エンジンECU用防水153極コネクタ
- ワンモーショングロメット
- 住友電装製消音材



1980年代~

#### エレクトロニクス製品

- セントラルゲートウェイ
- ボデーECU
- ジャンクションブロック
- リレーボックス
- パワーディストリビューター



2000年代~

#### HEV・EV車用製品

- EV/PHV用充電コネクタ
- HEV用電池配線モジュール
- HEV用電源BOX
- 床下パイプハーネス
- 端子台・パワーケーブル
- 車載回生システム用充放電コントローラ
- 高圧コネクタ

総合自動車部品サプライヤー

## 数値で見る弊社実績

### 売上

ハーネス事業全体

**16,423** 億円

単独

**7,519** 億円



### 創立

**106** 年



### 拠点数

**109** 社



### 資本金

**20,042** 百万円



### 展開

**33** の国と地域



### 世界シェア

**24%**

2022年度  
自動車用ハーネス  
世界シェア

**トップ**  
シェア

### 従業員数

国内単独

**7,246** 人

グローバル

**242,512** 人



The image features a dark, semi-transparent car chassis as a background. Overlaid on this are vibrant, multi-colored fiber optic light trails in shades of blue, purple, and red, creating a sense of motion and technology. A large, semi-transparent grey watermark '03' is positioned on the right side of the image. The main text is in white, with the Japanese characters '私たちが創り出す未来' and the English translation 'Our creating future' below it.

# 私たちが創り出す未来

Our creating future

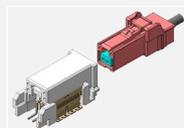


## 弊社の事業を支える製品群

モビリティ社会に貢献する多様な製品。

「環境・安全・利便」をキーワードにさらなる追求を進めていく。



領域	ハーネス	コネクタ・端子	エレクトロニクス
従来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低圧ハーネス</li> <li>・アルミハーネス</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コネクタ</li> <li>・ジャンクションボックス</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ECU</li> </ul> 
電動化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧ハーネス</li> <li>・電池内ハーネス</li> <li>・バスバーモジュール</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大電流コネクタ</li> <li>・高圧JB</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーンECU</li> <li>・ゲートウェイ</li> <li>・リレーボックス</li> <li>・パワーディストリビューター</li> </ul> 
高速通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速通信ハーネス</li> <li>・光ハーネス</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速通信コネクタ</li> </ul> 	

## 30V・25Mの数値目標

ものづくり・人づくりを追求し、“期待を越える可能性の実現”へ挑戦する。

### 既存事業の確実な収益化

ものづくり革新・新規顧客開拓

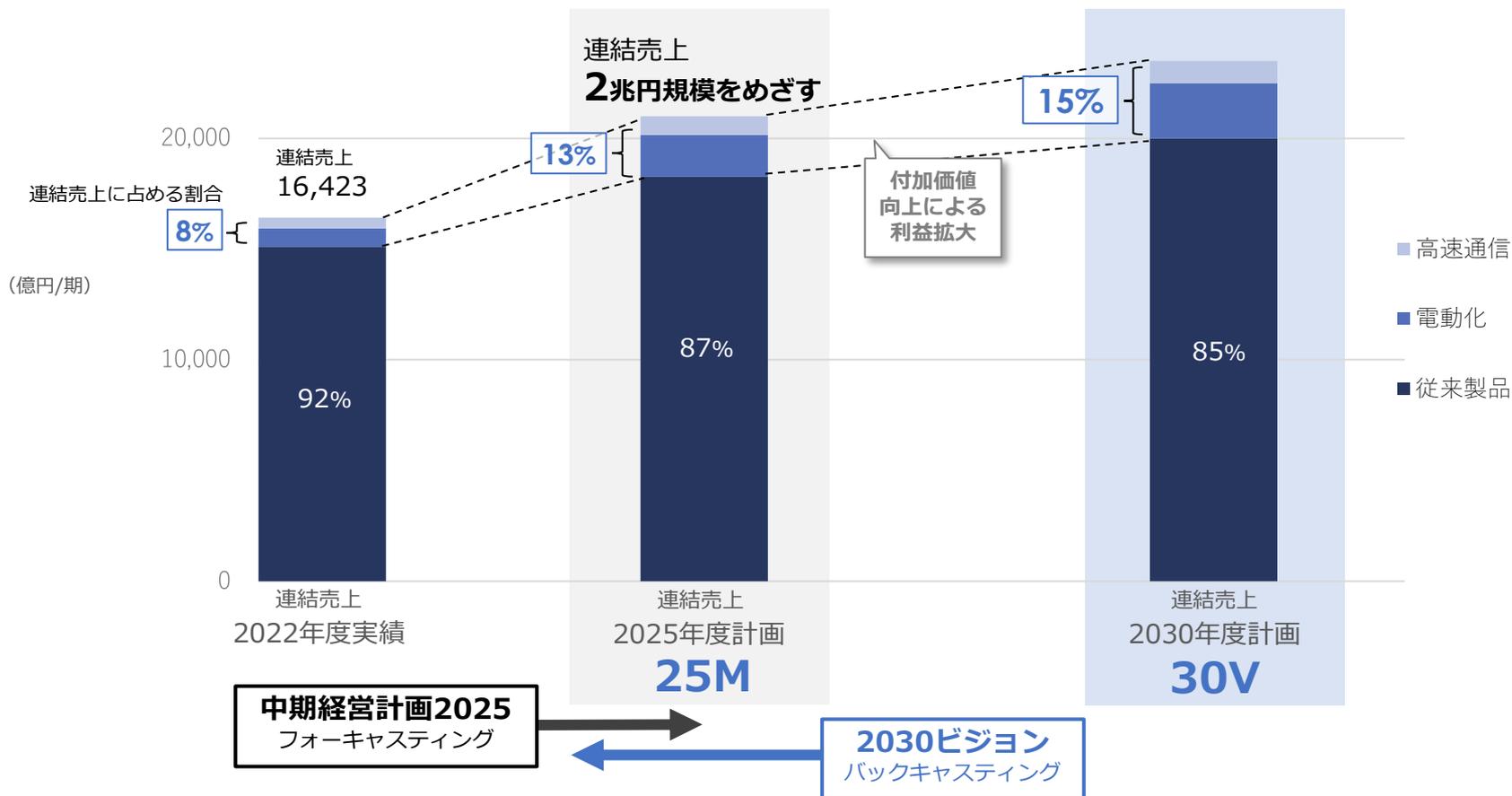
営業利益率 **7%をめざす**

投下資本利益率 (ROIC) **10%以上**

### 新規事業の拡大

“CASE潮流”への対応

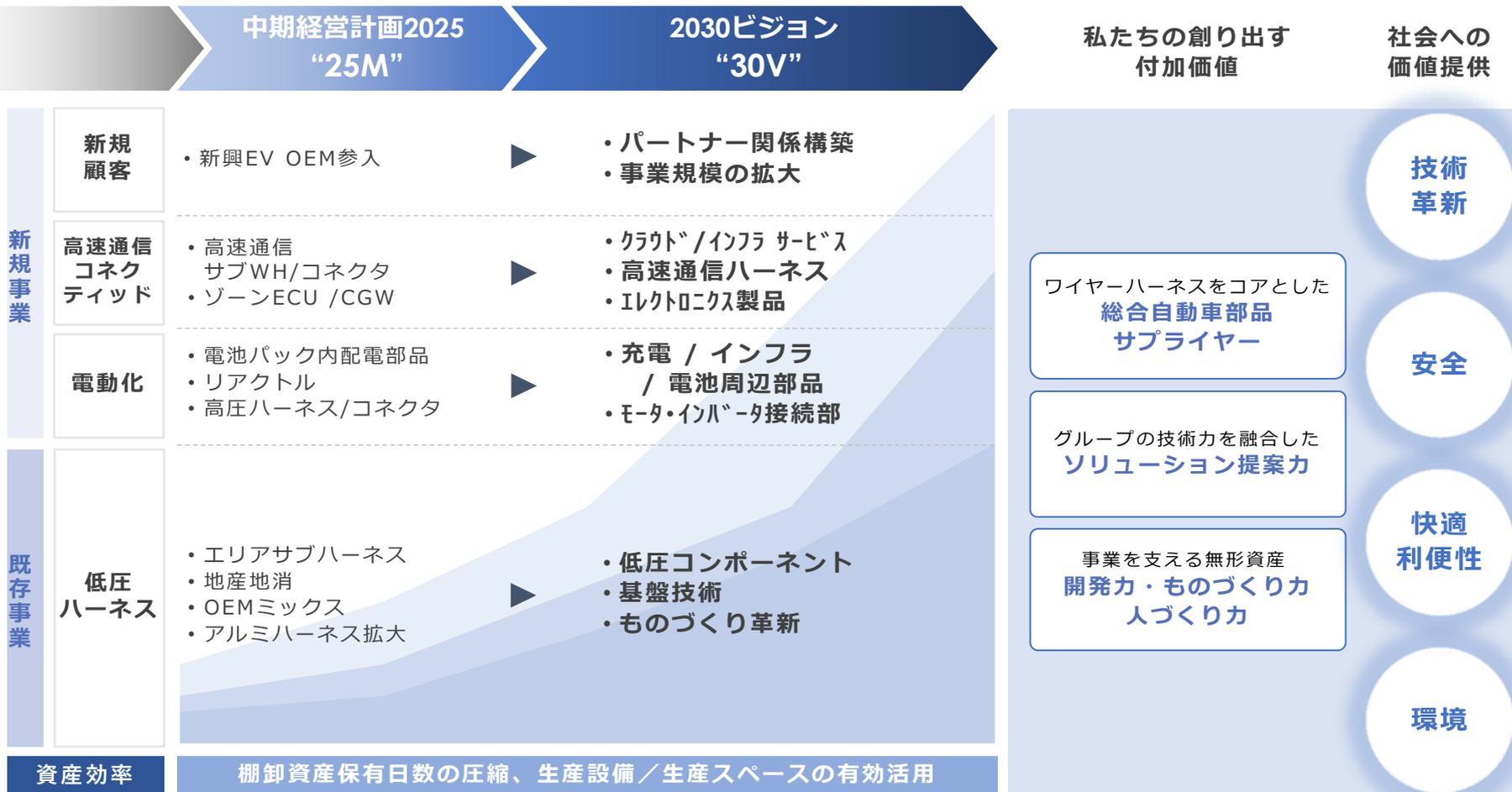
電動化・高速通信関連 新製品  
連結売上に占める割合 **15%以上**



## 各事業領域の成長戦略

新たなCASE関連商材の開発、ものづくり革新、新興EV OEM対応など、2025年度以降を見据えた利益を生み出す構造や採算性確保に向けたシナリオを策定。

→ 2023年度 → 2025年度 → 2030年度



# 既存事業（従来のワイヤーハーネス）の深化

## ものづくりの革新とサプライチェーンの見える化

### 低圧ハーネス 技術 ものづくり力の深化

- ① 生産性向上：プロセスの効率化や自動化、設備共用化の促進
- ② 顧客ニーズへの柔軟な対応：多品種対応が可能な生産体制構築



エリアサブハーネス拡大

地産地消  
設備の共通化  
品番対応  
リスク対応

- ③ グローバル供給体制 サプライチェーンの見える化



- 変化に対する異常費用の削減  
【ものづくりの先手管理】
- 棚卸資産の削減  
【原材料～製造～納入LT短縮】
- 固定資産の削減  
【ムダのない最小の投資】

## 新規事業（CASE向け電動化・高速通信）の深化

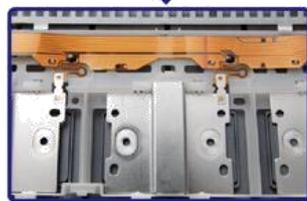
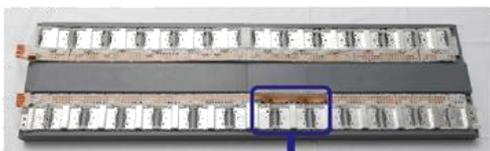
次世代モビリティを支える電動化や高速通信化に寄与する独自製品・技術を開発

電動化

技術

### 電動化のさらなる普及をアシスト

バスバーモジュール（BBM）



充電ケーブル・インレット

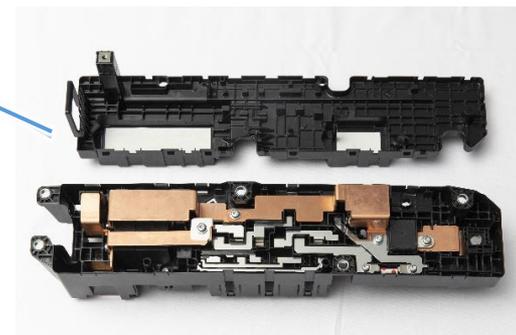


インバータ/モータ

電池

インバータ/モータ

高圧J B



# 新規事業（CASE向け電動化・高速通信）の深化

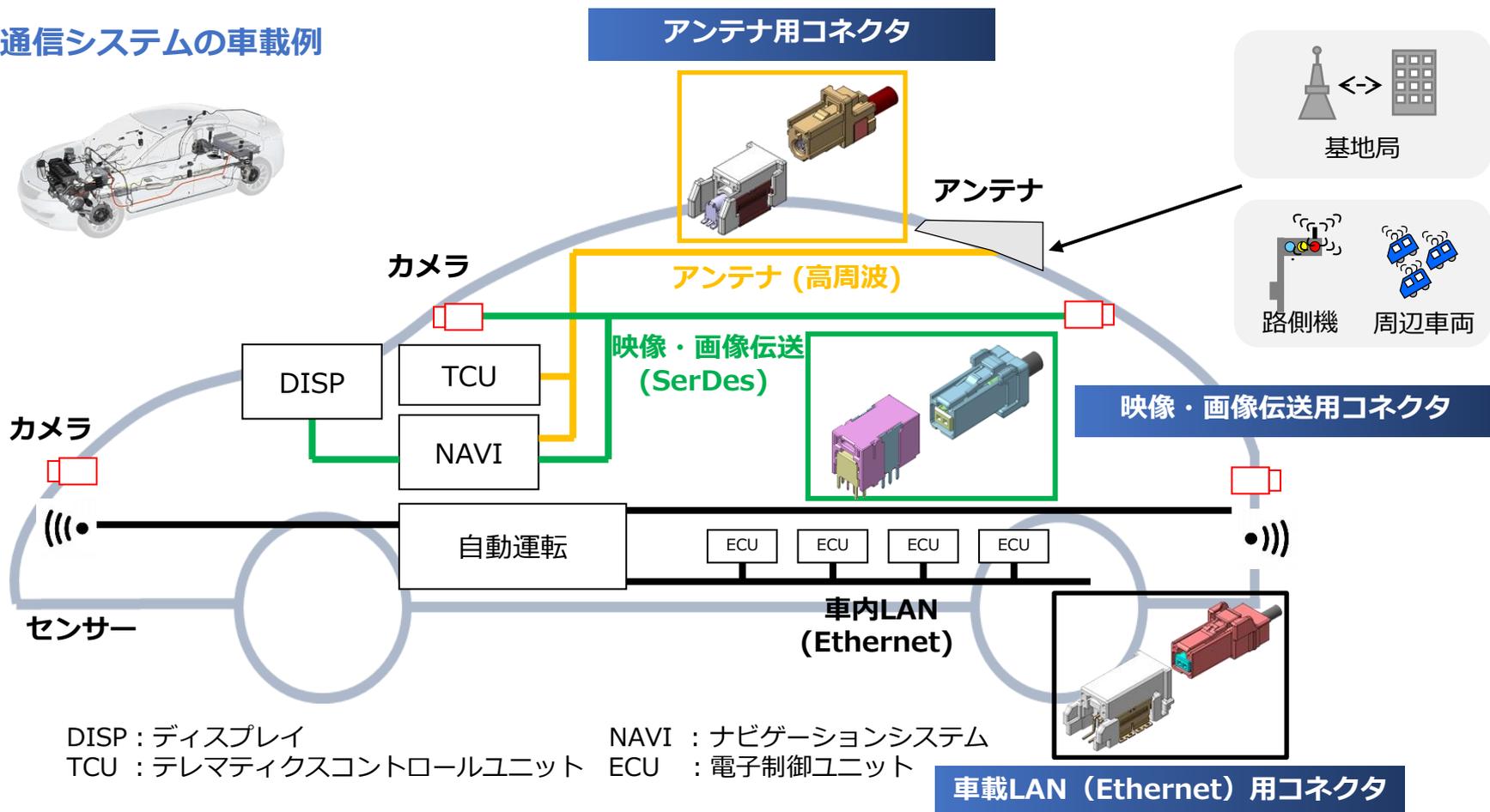
次世代モビリティを支える電動化や**高速通信化**に寄与する独自製品・技術を開発

高速  
通信

技術

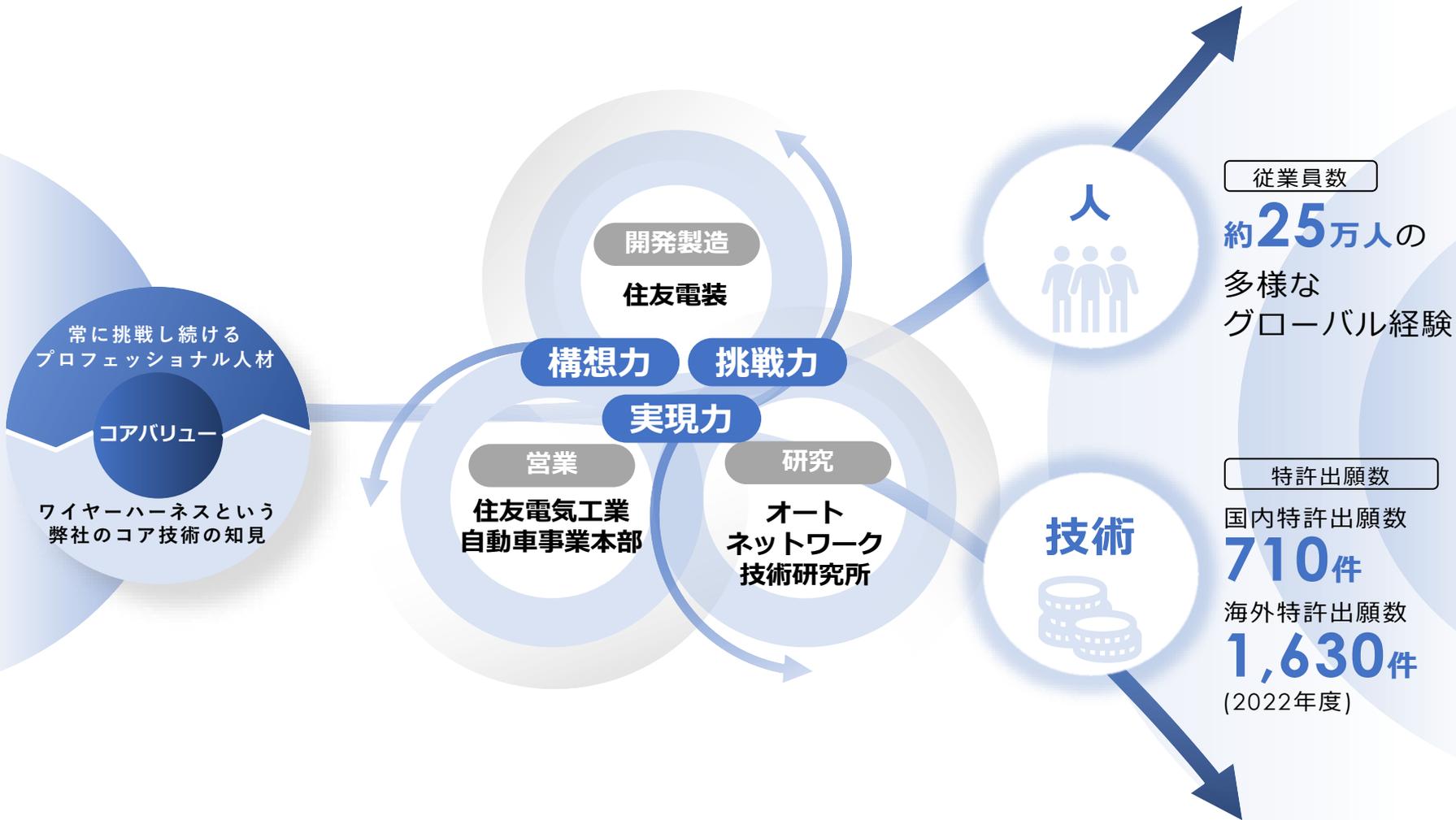
## つながる情報量の増加と通信速度の高速化

### 通信システムの車載例



# 成長戦略実現のための三位一体体制

組織の領域を越え融合し、創造性を獲得



国内自動車部品業界の「特許資産規模ランキング2022」において第3位

(出所；株式会社パテント・リザルト)

# 「人」に対する取組み

Initiatives for "People"

# 04

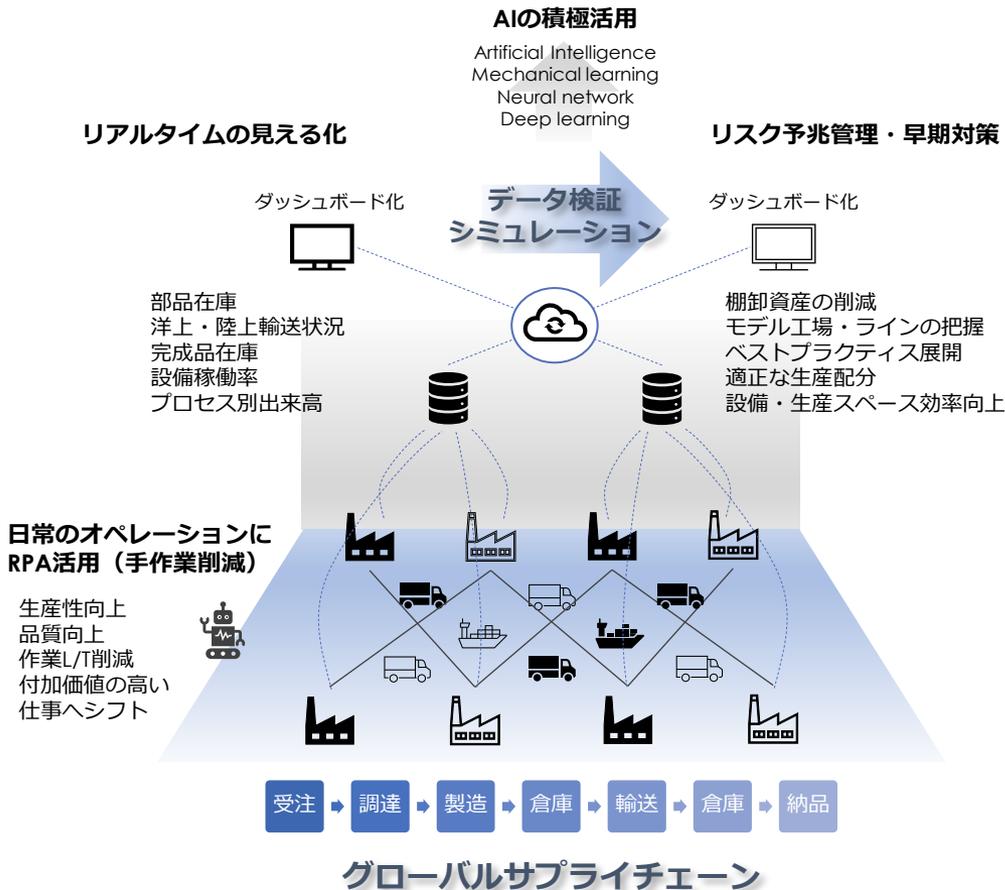
## 「新たな価値の創出」と「生産性の向上」に向けた3つの成長エンジン



# DX推進

「データ・デジタル技術の活用 (D) による変革の推進 (X)」でものづくりを軸とした『収益性の向上』をめざす。

## DX推進構想イメージ

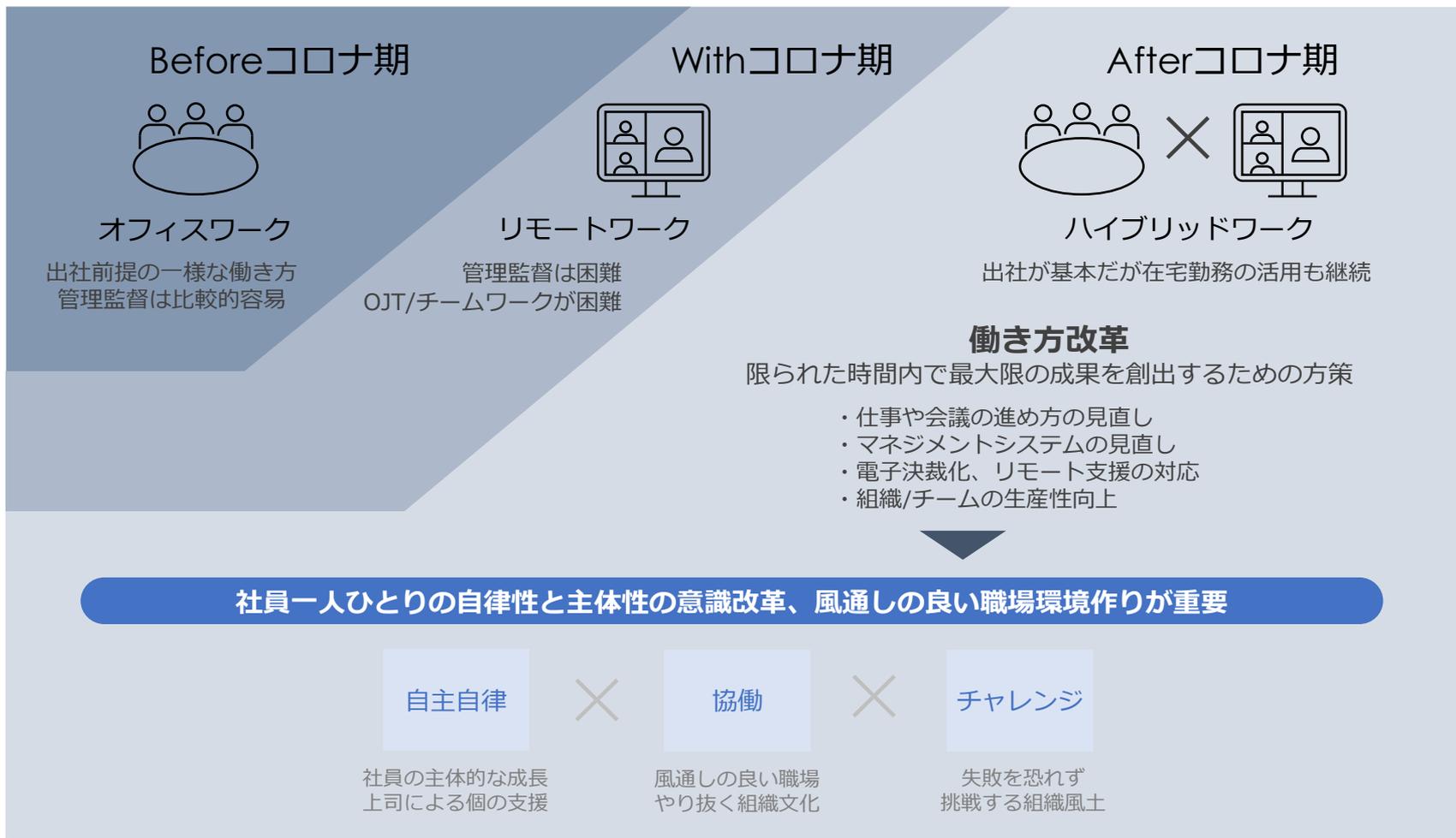


## DX人材育成の取組み

<p><b>リーダー</b></p> <p>変革構想・企画立案</p>	<p>リーダー教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進入門、概論教育</li> <li>実践支援 (OJT・事例共有)</li> </ul>
<p><b>実務スタッフ</b></p> <p>現場改善推進 特化型AI活用</p>	<p>技術者教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汎用プログラミング言語学習</li> <li>機械学習</li> <li>データ分析手法学習</li> <li>特化型AI活用教育</li> </ul>
<p><b>全社員</b></p> <p>生成系AI業務活用 業務生産性向上</p>	<p>リテラシー教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DXリテラシー教育 (AI含む)</li> <li>DXポータルサイト立上げ</li> <li>DX/AI活用事例紹介</li> <li>DX出前教育</li> </ul>

## 働き方改革

世の中の価値観の変化や社会的要請に応じた働き方改革への取組みと、仕事を通じた社員のワーク・エンゲージメントを向上させる。



付加価値の最大化・企業体質強化へ

# 組織・人材

「人」が企業価値向上の源泉。持続的な発展と事業計画の達成に向けて、「新たな価値」を創出する人材を惹きつけ、育つグループ企業へ。

## Mission

### 組織人材戦略

サプライヤーから  
パートナー

変化変革を興す  
リーダー人材の確保

三位一体

グループグローバル  
総合力の深化

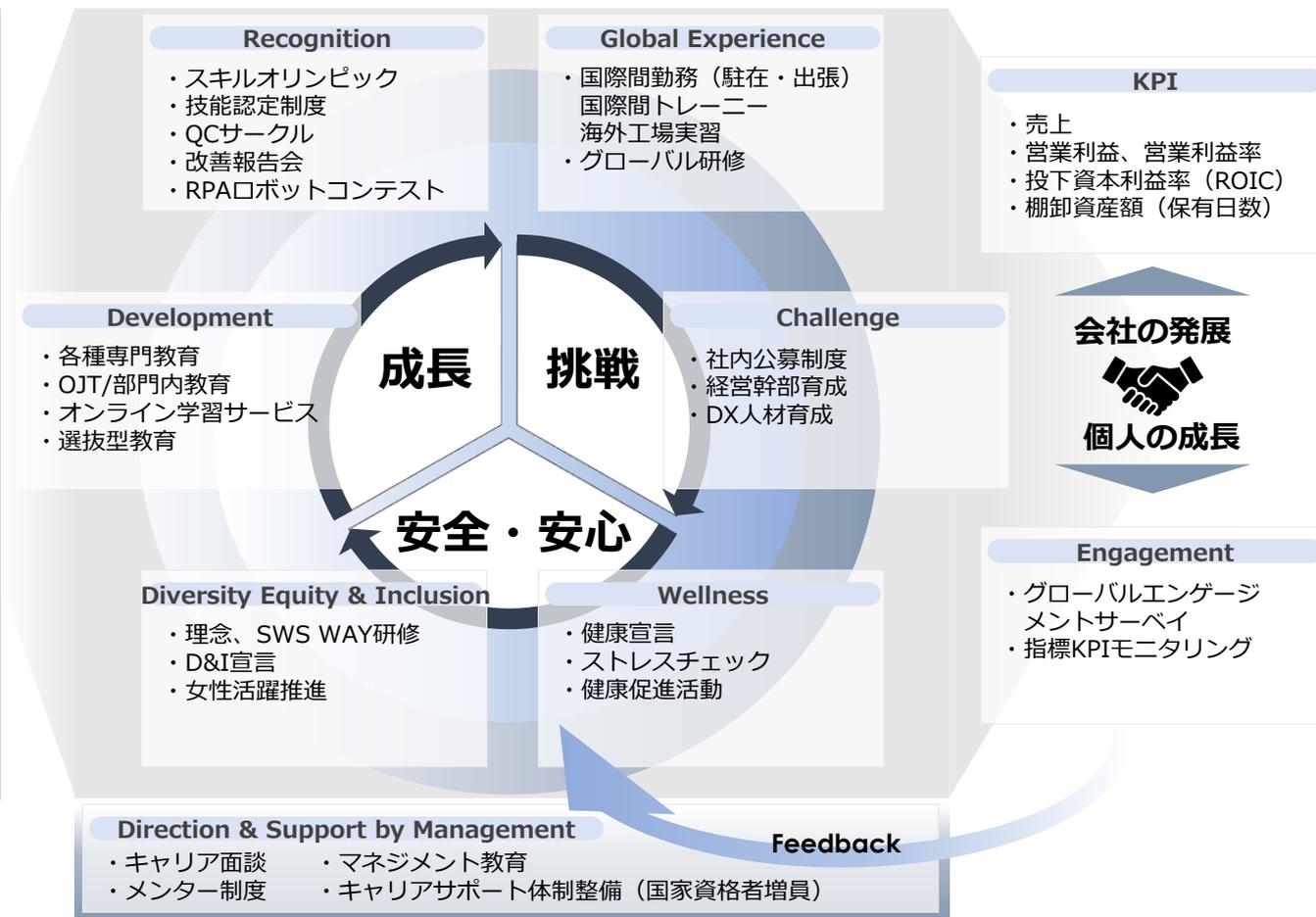
多様な  
グローバル経験

全ての人材が働きがい  
溢れ、活躍する会社へ

## 人づくり・仲間づくり 循環サイクル

各国、各社の実状に応じて必要な対策を実施（常にアップデート）

## モニタリング



## 指標設定に向けて

人に関する指標をモニタリングしPDCAサイクルを回していくことを通して  
Purpose・Vision・Missionの具現化に向けて具体的な取組みを加速させていく。

組織人材戦略	重点モニタリング指標	2022年度	2025年度
変化変革を興す リーダー人材の確保	国内DX人材 リーダー人材 実務スタッフ	2023年度開始	200名 1,000名
	後継者充足率（部長以上）	84%	90%
	グローバルマネジメント研修	受講者 180名/年	受講者 600名/3年
グループグローバル 総合力の深化	SWS WAY Driver（職場推進者）	有資格者 500名	有資格者 800名
	グローバル人材育成 国際間トレーニー派遣	40名	100名
全ての人が働きがい 溢れ活躍する会社へ	エンゲージメントサーベイ*	2023年度開始	2023年度 Score比 +5 Pt
	健康経営度調査*	偏差値 56.0	偏差値 60.0
	女性総合職採用比率* 事務系 技術系	45% 5%	50% 10%

\*弊社（住友電装株式会社）の指標

Purpose

Vision

Mission

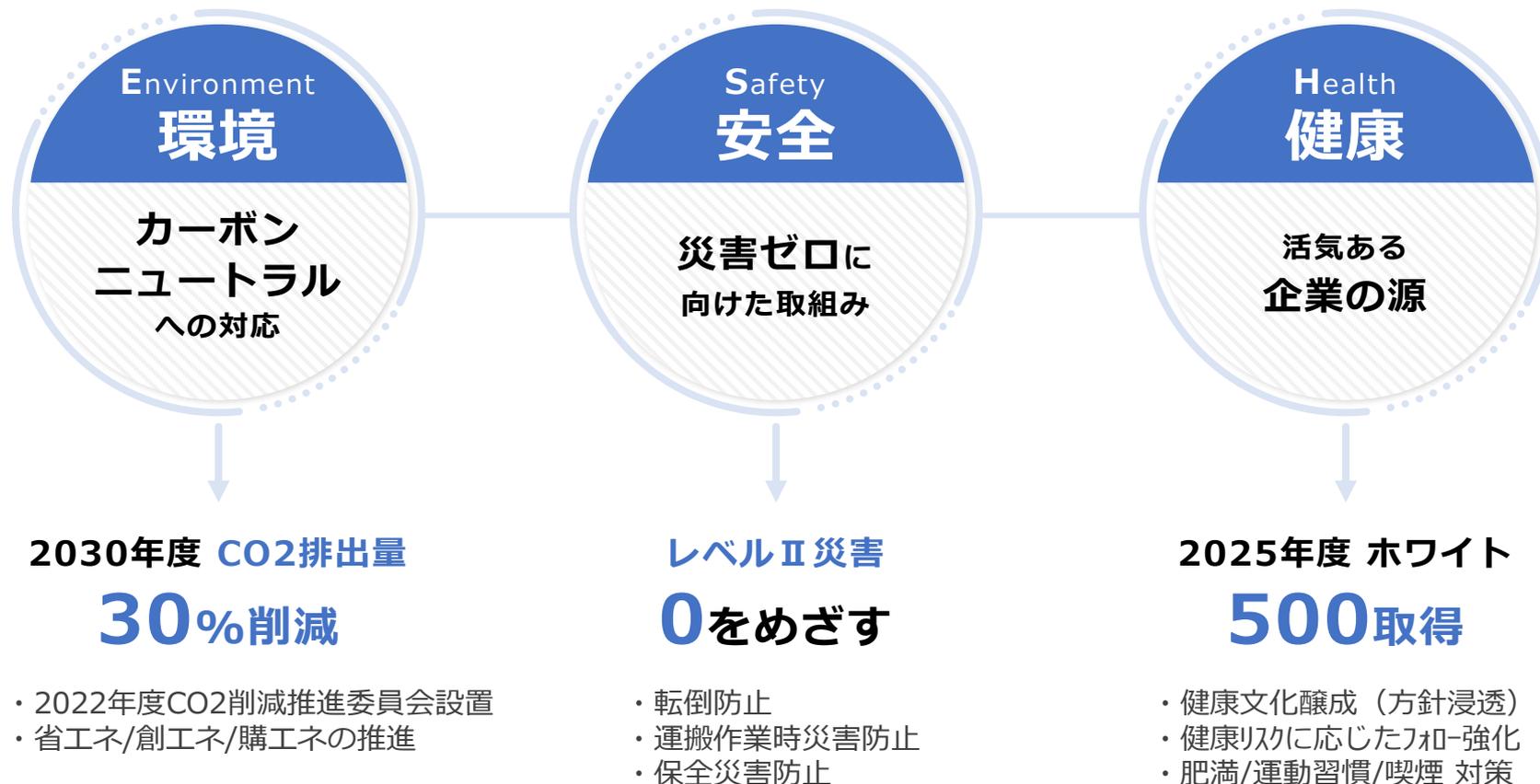
サプライヤーから  
パートナー

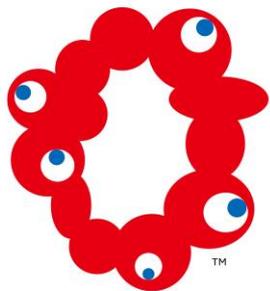
三位一体  
グループ総合力の協創

25万人の多様な  
グローバル経験

## ESHの取組み

次の100年に向け、**環境**、**安全**、**健康**に関する取組みを強化していく。





OSAKA, KANSAI, JAPAN  
**EXPO2025**

